

『ディベートと議論教育』第8巻「特別企画:国際交流としてのディベート」
原稿募集のご案内

ディベート教育国際研究会は、ディベート教育に関する研究および教育活動を行うために2015年3月に設立されました。ディベート教育に関する情報発信の一環として、年に一度論集『ディベートと議論教育』を発行しています。

2026年に発行予定の第8巻では従来の研究論文や研究ノートに加え、特別企画としてこれまで国際交流としてのディベートに携わってきた方々(ディベーター、指導者、企画者、研究者等)の経験を共有する場を設けます。今回の企画の背景には、国際情勢や費用面など様々な理由で、これまで行われてきた国際交流としてのディベート事業が中断したり、参加者が集まりづらかったりしているという現状があります。ディベート教育国際研究会として、今一度ディベート活動が国際交流に果たす役割を語り、広めていく必要性を感じています。先人たちが築いてきたディベートを通じた国際交流を次世代に繋げていくためにも、皆様の貴重な経験談をぜひご投稿ください。

報告の例

1. ディベーターとして:参加プログラム、参加の経緯、ディベートでの議論、参加者同士の交流、その後のキャリアへの影響等
2. 指導者・引率者として:参加プログラム、指導方法、生徒・学生の様子、指導者同士の交流、プログラムの意義等
3. 企画者として:企画プログラム、企画の経緯、参加者の様子、プログラムの意義、反省点、等
4. 研究者として:異文化コミュニケーションの文脈で見る国際交流ディベート、等

※上記の複数が融合した形でも、全く別のアプローチでも可

原稿はA4版にワープロまたはパソコンで作成し、10.5ポイントの書体で、日本語はMS P明朝、アルファベットはTimes New Roman、1ページあたりの行は39~40行(英文の場合はダブルスペース)とし、上マージンを約20ミリ、下マージン・左右マージンを約25ミリとします。分量は上記A4版で3ページから10ページ程度(図表写真等を含む)をお願いいたします。Microsoft Wordファイルでご提出ください。**提出の際には、テンプレート(<https://www.istdebate.org/>)をご活用下さい。**投稿者以外が写っている写真やコメント等を使用する場合は、必ず本人に許可を得てください。

締切日は2025年9月30日とします。応募状況により、編集局にて選考・編集を行います。応募状況によっては、いただいた原稿全てを掲載できるとは限りません。その点をご了承いただいた上でご応募ください。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

雑誌名: ディベートと議論教育—ディベート教育国際研究会論集

Debate and Argumentation Education: The Journal of the International Society for Teaching Debate

ISSN 2433-3514

<https://www.istdebate.org/publication>

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/debate/-char/ja>

問合せ先及び提出先:編集局長と編集局メールへお送りください。

編集局長 宮脇かおり(桃山学院大学) :miyawakk★andrew.ac.jp

編集局:istdebate.journal★gmail.com ★→@にご変更ください

編集局長 宮脇かおり(桃山学院大学)